

繊維産業が地場産業の一つである愛知県東部、三河地方。ここに本社を置く清掃用品製造・販売の日之出（豊橋市、松本百合子社長）は再生ペットボトル繊維と合成ゴムを、接着剤を使わずに一体成型したマットを開発した。レンタル用玄関マットとして初めて「エコマーク」の認定を受けた。

商品名は「ECOヒューレ」。全体重量の三五％に再生ペット繊維を使い、財団法人・日本環境協会から三月に認定商品として承認された。

従来のマットはペット繊維を打ち込んだ基布と下の合成ゴムの間に液状の接着剤を利用、乾燥させ一体成型していた。接着剤は一平方メートルあたり一

日之出

## ニッポンの キラ星企業



松本百合子  
社長

＊以上必要。接着剤が全体の重量をかさ上げするため、再生繊維が占める重量割合を三五％以上にする上でネックだった。

そこで開発したのが特

### 清掃用品に再生繊維活用

#### 〈会社概要〉

- ▽本社 愛知県豊橋市錦町122番地
- ▽社長 松本百合子氏
- ▽電話 (まつもと・ゆりこ) 0532・31・2237
- ▽売上 約7億8000万円
- ▽従業員数 36人
- ▽事業内容 清掃用品の製造・販売

殊な繊維を基布の下部に薄く広く押しつけて溶かし、これを接着剤の代わりにする工法。使う接着剤は四十％程度で、製品全体の軽量化につながった。従来の接着剤を溶かすには七氏百二十度の温度が必要だった。特殊繊維は七十度以下で溶けるため熱使用量

モップのキャンバスの端に保護テープを貼り付ける



再生繊維を使っても一定の強度を確保するのに役立つのが、同社が独自開発したエン

の削減にもつながった。リサイクルや環境配慮型商品の開発に力を入れているさっかけになったのは、製品を利用している企業から「工場から出る使用済みの手袋や作業衣を再利用できないか」との相談を受けたことによる。工場の繊維廃棄物はほとんどが産業廃棄物として処理されており、一部の再生製品も耐久性な品質に問題が残るケースがあった。

機だ。複数の軽くなった糸を数本組み合わせる製法で、長い一本の糸のよろにまとめる。改良を重ねながら耐久性の高いレンタル用モップを開発、「ECOひまわり」として商品化に成功し、二〇〇三年春にエコマークを取得した。

市場の競争が激しい清掃用品業界で生き残るには「価格競争に巻き込まれないオンラインワン」の技術と付加価値が必要（松

## グリーン調達の後押し

本社長）となる。清掃用品レンタルを手がけるグループ会社を通じ、最終ユーザーのニーズを把握、市場調査や商品開発に生かしている。

環境重視の姿勢はユーザーにも浸透、最近では「日之出製の清掃用品を使いたい」との指名もかかるという。大手企業や官公庁が環境配慮型商品の購入を推進していることも事業拡大の追い風になると期待は膨らむ。

「究極の目標は清掃用品のゼロエミッション」（松本社長）。販売したモップなどを使用後に回収・再生し、商品としてよみがえらせることを目指し研究開発をさらに強化する考えだ。

（豊橋支局長 星睦夫）